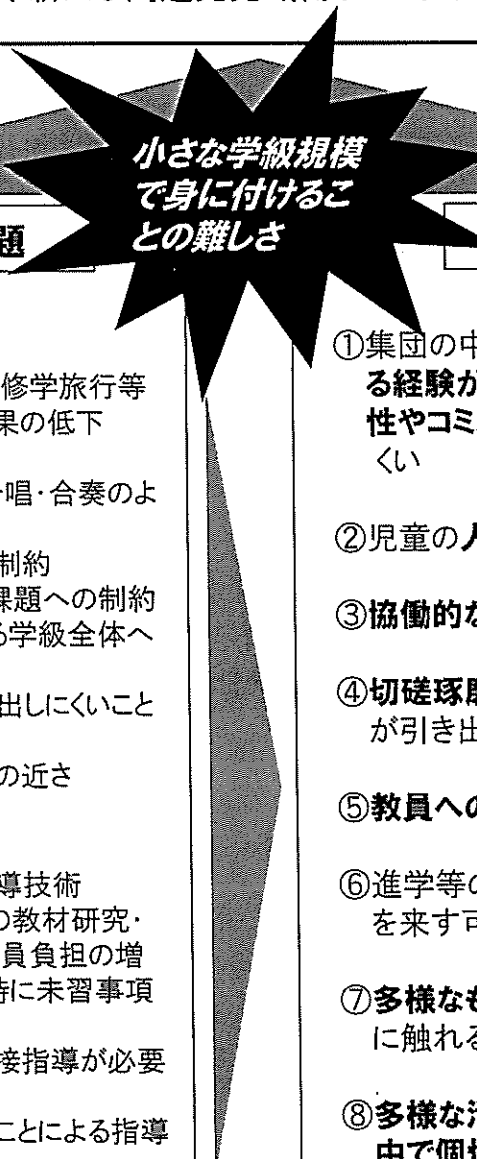


「これからの社会で求められる力」と学級規模との関係

これからの社会で求められる力

- 高い志や意欲を持って、主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし人生を切り拓いていく力
- 対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝えるとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを 発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていく力
- 変化の激しい社会の中でも、感性を豊かに働かせながら、より良い人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題発見・解決につなげていく力


 小さな学級規模
で身に付けるこ
との難しさ

学級規模の課題

児童に与える影響

<小規模な学年単学級>

- ① 運動会・学習発表会・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果の低下
- ② 学級内での男女比の偏り
- ③ 体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習への制約
- ④ 班活動やグループ分けへの制約
- ⑤ 協働的な学習で取り上げる課題への制約
- ⑥ 教科等が得意な子どもによる学級全体への影響
- ⑦ 児童から多様な発言が引き出しにくいことによる授業展開への制約
- ⑧ 教員と児童との心理的距離の近さ

<複式学級>

- ① 教員に求められる特別な指導技術
- ② 複数学年分や複数教科分の教材研究・指導準備を行うことによる教員負担の増
- ③ 単式学級の学校への転出時に未習事項が生じるおそれ
- ④ 実験・観察など長時間の直接指導が必要となる活動への制約
- ⑤ 兄弟姉妹が同じ学級になることによる指導上の制約

- ① 集団の中での自己主張や他者を尊重する経験が希薄になる可能性があり、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい

- ② 児童の人間関係や相互の評価の固定化

- ③ 協働的な学びの実現の難しさ

- ④ 切磋琢磨する環境の中での意欲や成長が引き出されにくい

- ⑤ 教員への依存度が強まる可能性

- ⑥ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性

- ⑦ 多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることの難しさ

- ⑧ 多様な活躍の機会がなく多面的な評価の中で個性を伸ばすことの難しさ